

The 4100D マウンテントレイル in 野沢温泉

遭難事故の最終報告

S-Mountain The 4100D マウンテントレイル in NOZAWA ONSEN 2019

令和元年 12 月 14 日

S-Mountain The 4100D マウントトレイル in NOZAWA ONSEN 2019 事故調査委員会

S-Mountain The 4100D マウントトレイル in NOZAWA ONSEN 2019 について

S-Mountain The 4100D マウントトレイル in NOZAWA ONSEN 2019

事故調査委員会

大会実行委員長 若月 等

累積標高 4100m という国内でも屈指の大会を続けて来られたことは、開催地野沢温泉村の皆様、スポンサーの皆様をはじめ多くの方のご協力と参加ランナーの熱意に助けられてのことだと思っております。野沢温泉村というスキー場としても多くのスキー愛好家やインバウンドからも愛される場所でロングトレイルの魅力をお伝えし、レースを通じて地元への経済効果をもたらす貢献することはマウンテンリゾートでの活動を中心としている我々の思いでもありました。

今回の遭難事故につきましては非常に残念な事故で、行方不明になられた方のご家族にも辛い思いをされたことと思います。我々事故調査委員会の責務は、いたらなかった安全対策の問題点とその原因を明確にし、新たな安全対策を作成することと今後、その安全対策を広く訴求して安全で楽しくトレイルランニングをしていただくための環境に貢献することだと考えております。

●事故調査委員会の構成

本大会は実行委員会が主幹として開催地である野沢温泉村に協力を仰ぎ大会を運営している。

そこで大会実行委員長をはじめ下記のメンバーで調査委員会を構成した。

若月等：大会実行委員長

片桐幹雄：株式会社野沢温泉 代表取締役

田中正人：大会競技委員長

●遭難事故の概要

- 4 日午後 2 時頃に行方不明の男性携帯電話から「道に迷った」との連絡が事務局に入りましたがその後男性との連絡が途絶えてしまったため捜索本部を設け、飯山警察署、岳北消防

署、野沢温泉消防団、野沢温泉村捜索対策協議会、株式会社野沢温泉の約 60 名体制によってヘリコプター出動を含めた捜索をいたしました。その後 4 日間捜索を続けましたが行方不明の男性を発見できず、7 月 18 日（木）にご家族同意のもと捜索を打ち切りました。

- 聞き取り調査：

飯山警察署によって大会競技委員長にコースの設定と誘導看板などの設置、最後尾を走るスイーパーの人数や行動など聞き取り調査がなされました。またスイーパーや遭難者の近くを走行していた参加ランナーなどからも情報を得てコースを外れた箇所を推測しながら関係団体とともに捜索を行いました。

- 14 日以降の捜索：

14 日は降雨による悪天候でもあり、日没による捜索は打ち切られ翌朝日の出とともに捜索を開始しました。その後二次被害の出ないよう警察からの指導のもと 4 日間にわたって捜索を行ないましたが 7 月 18 日（木）にご家族同意のもと捜索を打ち切りました。

- その後の捜索について

その後、The4100D マウンテントレイル in 野沢温泉に参加の皆様、並びに地元の方々、この事故を知った方からご心配やご支援のお問合せを多く頂きましたが、実行委員会といたしましては警察からも二次災害防止の指導もあり、捜索入山を厳選して 10 月末まで地元のスタッフによる捜索を行いました。今までに捜索をした尾根、沢を GPS に落とし、行方不明になったと思われる場所は全て捜索したが大変残念ながら行方不明者を発見することは出来なかったため捜索は終了とさせて頂きました。

●安全対策について

(1)コース設定とコースにおける誘導

コースは開催 1 週間前から競技委員長をはじめ、運営スタッフと地元野沢温泉村スタッフにより整備を行なっています。種目も複数種目あり、コースも変わって来るためローピングやマークによってコースを外れないよう作業を行なっていますが、天候によってはマークが外れる可能性もあるためよりマーク間の距離を短くするなどの工夫を計画します。また最後尾を走行するスイーパーの意識向上と競技委員長による事前のレクチャーなどを実施します。給水所やエイドステーション、ポイントチェック箇所における人員配置についても長時間に及ぶレースのため配置箇所や人数などを再度検討します。

(2)スタッフの通信手段

各エイドステーションや給水所、本部、計測係はトランシーバーによる連絡をしていますが、各所における報告事項を取りまとめ情報共有できるようにします。

- 事故発生防止対策

(1) 必須携行品

65km 種目においては夜間走行、寒さ対策、雨対策などを考慮してライト、予備バッテリー、防水・防風ウェアなどを必携行品としていますが、「GPS 機能」のある時計や電話と予備バッテリーを出場種目限らず、必須携行品として明記します。

(2) コース管理と監視の徹底

コースアウトすることの無いようにマーク、スタッフ配置、スイーパーの人数などを再検討します。

また配置されるスタッフには事前に注意事項の徹底を行います。

- 事故発生時のマニュアル作成による迅速な対応

運営に関わるマニュアルは従来通り作成し、関係者に配布しますが事故発生時の連絡網や細部にわたる行動についてマニュアル化します。